

ハビリス

ハビリスの名は、リハビリテーションの語源である、ラテン語の、re(再び)+habilis(適した、ふさわしい)+ation(状態にする)から採ったものです。

宮崎県身体障害者相談センター
(高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関)

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2

TEL:(0985)29-2556(代)

FAX:(0985)31-3553

<http://www.shinsyocenter-miyazaki.com/>

ひだまり～聴こえとことばの相談～

当センターでは、聴こえやことばについてのご心配をお持ちの方を対象に聴力検査やことばに関する相談、発達状況の検査などを行っています。

●聴力検査

乳幼児を対象に様々な検査装置によって、年齢や発達に応じた検査を行っています。

○3歳半健診でことばの遅れを指摘された。

○発音がおかしい。

○呼んでも返事をしない。

○同じことを何回も聴き返す。

○言葉が遅い、はっきりしない、吃音がある。

○中耳炎を繰り返している。

などの相談で当センターを利用される方が多くなっています。



●心理相談・評価

ご家族の方から子どもさんの様子や生育の経過をうかがい、必要に応じて発達検査、知能検査等を行っています。それらの情報から発達の遅れや様々な能力の傾向、発達障がいの傾向があるかどうかを知ることができます。



●言語相談・評価

ことばの発達の状態や発音の様子などの相談・検査を行っています。最初に、ことばの遅れや発音の不明瞭さの原因が聴力の低下なのか発達的な問題なのかを調べます。そして、今の子どもさんの状態を説明し、今後の療育に役立てていけるよう、声かけや関わり方についてのアドバイスをし、訓練が必要であれば訓練施設等への紹介も行っています。

○日時…毎週火曜日 午後1時30分～午後4時まで

○場所…宮崎県身体障害者相談センター

(宮崎市霧島1丁目1番地2 宮崎県総合保健センター内)

* 相談や検査は無料です。

* 予約制です。事前にご連絡ください 電話:(0985)29-2556

健康寿命を知ろう!

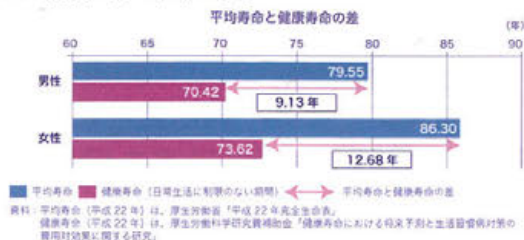
1 健康寿命とは

誰もがいくつになっても健康で自立した生活を送りたいと願っています。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。また、自分が健康であると自覚している期間を含める場合もあります。

2 平均寿命と健康寿命

平均寿命は、発表された年に生まれた人が死亡するまでの平均余命です。最新の厚生労働省の発表によると日本人の平均は、男性80.50歳(世界3位)女性86.83歳(世界1位)です。

平成22年の資料によると健康寿命は男性が70.42歳、女性が73.62歳です。平成22年時の平均寿命が男性では79.55歳、女性で86.30歳であったことから、男性では9.13歳、女性では12.68歳の期間が健康でなく過ごす期間だったことになります。



3 宮崎県民の健康寿命

宮崎県民の健康寿命は男性71.06歳で全国11位、女性74.62歳で8位です。ちなみに、男性の1位は愛知県で71.74歳、女性の1位は静岡県で75.32歳です。(厚生労働科学研究補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

4 国の取り組み

「健康日本21(第2次)」において「健康寿命をのばしましょう」をスローガンに「食生活・運動・禁煙」を柱として、健康寿命の延伸と健康格差(地域や社会経済状況の違いによる集団における健康状態の差)の縮小を目標に、「スマートライフプロジェクト」を策定し、以下の3つの具体的なアクションを呼びかけています。



Smart X Eatで
健康寿命をのばしましょう。

例えば、1日プラス70gの野菜を!

朝食をしっかり摂ろう



Smart Walkで
健康寿命をのばしましょう。

例えば、毎日10分の運動を!

ロコトレやウォーキングを



Smart Breathで
健康寿命をのばしましょう。

例えば、禁煙の促進を!

病気になるリスクを減らそう

5 宮崎県の取り組み

「健康みやざき行動計画21」(第2次)を策定し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を全体目標として、市町村、企業などと連携して、さまざま分野から県民の健康や生きがいづくりを推進しています。具体的には、野菜摂取量を増やす啓発活動の展開や身体活動の増加と運動習慣の定着、「がん検診受診率向上プロジェクト」の積極的な推進等です。

6 健康寿命をのばすためには

一般的に、健康寿命が高い地域の住民は、栄養、運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が良いことが考えられます。また、経済的に余裕のある状態であること、気候が温暖であること、社会参加や地域のつながり、気持ちが前向きであること、保健予防施策や医療体制が充実していることなどが関連している可能性もあるそうです。

早い時期から健康な生活習慣を確立し、「からだのメンテナンス」「健康増進、発病予防」という一次予防の考え方を持って生活することが大切です。皆さんも意識して取り組んでみませんか。

高次脳機能障がいに対する取組について

高次脳機能障がいとは、事故や病気などで脳に損傷を受けたために、思考、記憶、注意などの高次な脳機能に障がいが起こり、日常生活や社会生活に制約が生じている状態です。

身体障害者相談センターは、高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関として、医学的支援・研究拠点機関である宮崎大学医学部附属病院や、高次脳機能障がい支援協力病院と連携しながら高次脳機能障がいのある方の相談や支援を行っています。

1 高次脳機能障がい総合相談

当センターでは高次脳機能障がいに関する相談を行っています。
相談は無料です。事前予約制ですので、まずは電話でお申し込みください。

日時：毎週火曜日 午前10時から午後4時（年末年始・祝日を除く）

申込方法：相談を希望される日の前日までにセンターへ電話でお申し込みください。

電話 (0985)29-2556

受付時間 月曜から金曜の午前9時から午後4時まで（年末年始・祝日を除く）
※予約状況により、日時を調整することがあります。

なお、総合相談日以外にも高次脳機能障害支援コーディネーターによる電話相談を受け付けていますので、御利用ください。

受付時間 月曜から金曜の午前9時から午後4時まで（年末年始・祝日を除く）

2 高次脳機能障がい家族会支援

みやざき高次脳機能障がい家族会 あかり
みやざき高次脳機能障がい家族会「あかり」から皆様へお知らせいたします。

2017年度活動報告
あかりの活動は「あかり」が中心となって行われており、活動の中心は「あかり」の活動です。

あかりの活動
あかりの活動は「あかり」が中心となって行われており、活動の中心は「あかり」の活動です。

高次脳機能障害者「宮崎県北部家族会」
☆トゥモロー☆
高次脳機能障がい者とその家族の悩みを共有し、助け合おうと努めています。

高次脳機能障がい者とその家族の悩みを共有し、助け合おうと努めています。

あかりのホームページ
<http://miyazakikouzinzouakari.miyachan.cc/>

トゥモローのブログ
<http://ameblo.jp/tomorrow-kojino/>

県内には、高次脳機能障がいの家族会が2つあります。宮崎市を中心とした「あかり」と延岡市・日向市を中心とした「トゥモロー」です。両者とも当事者やその家族、支援者が集まり、悩み事などについて例会で話し合いを行っています。当センターでは、両家族会の活動等について支援を行っています。

平成27年度 補装具定例判定・巡回判定の日程

当センターでは、障害者総合支援法による補装具支給の判定を行っています。
判定をご希望の方は、事前に各市町村障がい福祉担当窓口での申請が必要です
ので、お住まいの市町村障がい福祉担当窓口にご相談下さい。

対象：整形外科関係の補装具（義肢装具・座位保持装置・電動車椅子など）

会場：宮崎県身体障害者相談センター（宮崎市霧島1丁目1番地2）

10月：14日、21日、28日 1月：13日、20日、27日

11月：11日、18日、25日 2月：10日、17日、24日

12月：2日、9日、16日 3月：9日、16日、23日

また、当センターでの判定のほか県内5市での巡回判定も下記日程で行っています。

都城市：10/15、12/17、1/7、3/17

延岡市：12/3、3/10

日南市：11/19、2/25

小林市：2/4

日向市：10/29、1/28



なお、判定に関するお問い合わせは、「当センターまたはお住まいの市町村障がい福祉担当窓口」にお願いします。

身体障害者相談センターのホームページのご案内



当センターでは、ホームページで以下のような情報を提供しています。

（主な内容）

- ・身体障害者手帳について
- ・補装具について
- ・更生医療について
- ・高次脳機能障がい者の支援 など

URL は <http://www.shinsyocenter-miyazaki.com/> です。是非ご覧ください。